

# 家庭学習のすすめ～長柄小学校～

☆続けることが大切です。学年の目安の時間を目標に、机に向かう習慣をつけましょう。

## 学習の進め方

### 1. 学習時間

机に向かう習慣をつけることが大切です。家庭学習に1年生から取り組み、学年が上がるにつれて徐々に時間を増やしていきましょう。(宿題をする時間も、以下の時間に含めます。)

|       |         |       |         |
|-------|---------|-------|---------|
| ☆ 1年生 | (20分以上) | ☆ 4年生 | (50分以上) |
| ☆ 2年生 | (30分以上) | ☆ 5年生 | (60分以上) |
| ☆ 3年生 | (40分以上) | ☆ 6年生 | (60分以上) |

※中学校では、学年+1時間以上(1年生では2時間以上)必要だといわれています。

家庭学習は時間の多少にかかわらず、毎日続けることに意味があります。お子さんの「やる気」「自主的な取組」を認めて、励ましていただければと思います。

### 2. 学習の開始・終了時刻の決定

一度始めたら終わるまで集中して学習に取り組むことで、生活のリズムを身につけられるようにします。曜日ごとに決まっている塾や習い事がありましたら、その時間帯を考慮し、お子さんが低・中学年の場合は親子で話し合っって学習計画を立ててみて下さい。お子さんが高学年の場合は、少しずつ自分で学習計画を立てられるように支援してあげて下さい。

### 3. 学習内容

まず最初に学校の宿題をしましょう。次に、「自主学習」に取り組みましょう。

基礎学力の定着のために、各学年で「家庭学習の進め方」を配布し、「家庭学習メニュー」を紹介しています。それを参考にして学習内容を考え、学習の計画を立てるようにしましょう。

#### ☆ 毎日少しずつ取り組むとよい学習

「復習」「予習」「音読」「漢字練習」「計算練習」など、続けることにより高い効果を生む内容です。

#### ☆ 時間のあるときにやるとよい学習

「読書」「問題集・ドリル」など、自分の好みに合わせて取り組むとよい内容です。

# ☆学習環境づくりは家庭と学校で☆

## \*\*\* 生活時間の見直しと環境の整え方 \*\*\*

一日の生活リズムについて、家庭で話し合しましょう。

- ① 「学校から帰宅する時刻」または、「スポーツ少年団や習い事から帰宅する時刻」から「就寝時刻」までの、家庭における生活時間帯がどれくらいあるか曜日ごとに確認します。
- ② 毎日の生活時間の中に食事や入浴などの時間を設定します。
- ③ どうしても見たいテレビ番組については親子で話し合い、生活時間帯の計画に入れます。
- ④ 残りの時間帯の中から、学習時間帯を決めます。（※読書の時間も入れるとよいですね）
- ⑤ 余った時間は自由に使える時間として保証します。

## 学校での取り組み

学校では家庭学習について、各学年で統一した考えのもと、指導を行います。家庭学習の様子は学級や授業等で情報を交換しながら家庭と連携を深め、柔軟に対応していくようにします。

### ☆見届けのポイント☆

- ・よくできているところや努力したところをほめます。
- ・子どもの取り組みの良いところや、取り組み状態の良い変化を紹介します。

## 家庭での取り組み

### 1. 学習への意欲を持たせるためには

- ① 学習を始める時間がきたらテレビのスイッチを切ります。
- ② まず宿題に取り組みせ、次に、すぐに取りかかれるやさしい学習（音読など）から始めます。  
※低・中学年では、大人が側にいることが大切です。夕食のしたくの時などに、近くのテーブルなどでやらせるのも一つの方法です。やり遂げたという事実を、その都度ほめてあげることは、お子さんにとっての大きな喜びの一つです。

### 2. 学習に集中させるには

- ① 食べながら、飲みながらは避け、学習に集中する約束をしましょう。
- ② あらかじめ「終わり」の時刻を知らせ、守るようにしましょう。

### 3. お願い

※ 問題集など、解答のある学習課題に取り組んだ場合は、丸つけをしてから提出してください。

学校と家庭と連携を深め、子ども達の学力を向上させていきましょう。

よろしくお願い致します。